事業 力	ルテ	(3年度	決算)	サフ	カルテ有	教育	育指導課
10-01-03-	-533	教育指導紹	¥費					
事業の位置:	 づけ等							
事務の種	類	自治事務	基礎	となる法令	<u> </u>			
		目指すまちの姿	子育で	·子育ちを	みんなで	支え、子どもたちの	明るい声がひびくま	ち
第五次総合		政策 A2	人と学	びを未来に	こつなぐま	ちづくり		
基本計画作		施策 4		生徒の学び				
		関連する施策		2-1	A2-4	_	_	_
関連する個別		多摩市教育振	興プラン	,				
関連する報告	音書など							
事業開始の& これまでの見直し	改善など	ら、学校図書館	司書は 習指導要	平成14年度 要領改訂に	Eから配置 追随しなか	した。(平成15年度	員(ピアティーチャー ままでに小・中全校酢 ≥「学習教材の整備	2置)
 令和3年度の	事業の実	施内容				事業	開始の時期	平成13年度以前
		旧本 生体の	<u> </u>	シエリテ目日ニーフ	・士伝のさ	·中央中央1 2 244	の年光と回ったは	**
事業の目	的、	児里・生徒の 等の職員を配置		.佔に) 9 公	又抜り兀	夫や女正しに子仪	で運営を図るため、	教育佔數拍导順
令和3年度の				校の水泳指	う 導におい	て民間温水プール	を活用した実施を	試行し、時期や天
		を選ばない指導	掌の実施	および指導	算内容の向]上を図る。		
予算の執行	I <i>II II</i> I	教育活動指導 行。	職員等の)勤務報酬、	、消耗品費	貴等の事務的経費、	教育活動に関する	業務委託料等の
事業の成	7月 文果	行。 	享職員等	の人員を活	5用するこ)業務負担軽減を図	
事業の成	7月 文果	行。 	享職員等 ○時間を研	の人員を活	5用することで、個々	とで、学校教職員の に応じた指導を可値)業務負担軽減を図 能にした。	図った。 また、 児童
事業の成	万伝 文果 る費用 分	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う	享職員等 ○時間を研	の人員を活	5用することで、個々	とで、学校教職員の)業務負担軽減を図	引った。また、児童 令和3年度
事業の成 事業にかかる 区	万伝 文果 る費用 分 :千円)	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度	算職員等時間を配	の人員を活 確保すること 平成30年	所することで、個々 度 度 79 千円	とで、学校教職員 <i>0</i> に応じた指導を可 令和元年度)業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度	図った。また、児童 令和3年度 112,401
事業にかかる 区 決算額(単位: 事業にかかる。	方伝 注果 る費用 分 : 千円) 実コスト	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304	算職員等 時間を確 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま も に る に る に る る る る る る る る る る る る る る	の人員を活 確保すること 平成30年 127,43 171,12	5用することで、個々 とで、個々 39 ∓円 29 ∓円	とで、学校教職員の に応じた指導を可 令和元年度 147,950 +円 194,464 +円 0 +円	 一業務負担軽減を図能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 	マッた。また、児童 令和3年度 112,401 179,343 0
事業にかかる 区 決算額(単位: 事業にかかる。 国庫支出 直域 都支出金	方伝 注果 る費用 分 : 千円) 実コスト	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (715	享職員等 5時間を研 ▼ 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円	の人員を活 確保すること 平成30年 127,43 171,12 23,90	括用することで、個々 接 39 千円 29 千円 0 千円 05 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可 令和元年度 147,950 キ円 194,464 キ円 0 千円 28,623 千円	○業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 +円 224,965 +円 2,552 +円 42,812 +円	マネッカン マッチ では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
事業にかかる 事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる 国庫支出 超大日 地方のはな	万伝 3費用 分 : 千円) 実コスト	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (719	享職員等 時間を配 1 千円 1 千円 2 千円 2 千円 3 千円	で 平成30年 127,43 171,12	活用することで、個々 とで、個々 39 千円 0 千円 0 千円 0 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円	D業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0
事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる) 事業にかかる。 国庫支出金 地方債 世のの財政 でのの財政	え 大 大 大 大 (三 大 (三 大 (三 大 (三 大 (三 大 (三 大	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (享職員等時間を配 麦 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円	で 平成30年 127,43 171,12 23,90	后用することで、個々 とで、個々 39 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円	D業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0
事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる。 連載を出 地方の他財源 での般財源 間職員人件	え果 3費用 分 : 千円) 実コスト 金 : 定財源	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (719	享職員等 時間を を ま 千円 1 千円 0 千円 0 千円 0 千円	平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16	后用することで、個々 とで、個々 39 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円	D業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473
事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる) 事業にかかる。 国本 世 の の	え 3費用 分 5円) 実コスト 会 定財源 で で で で で で で で で で で で で	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 719 (1 (0 (1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	享職員等を配 ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 千円 人	平成30年 平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8	居用することで、個々 度	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 年円 194,464 年円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30
事業の成 事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる。 国庫支出債 地での他財源 一般財源 職員人件	え 3費用 分 5円) 実コスト 会 定財源 で で で で で で で で で で で で で	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (715 (96,575 6,962	享職員等を配 ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 千円 人	平成30年 平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8	E用することで、個々 1度 39 千円 29 千円 0 千円 0 千円 70 千円 64 千円 79 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30
事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる記 決算額(単位: 事業に動本方の般員人での 般員人での での、 大のの、 を表費である。 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、	え 3費用 分 5円) 実コスト 会 定財源 で で で で で で で で で で で で で	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8	居用することで、個々 度	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175
事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる記 決算額(単位: 事業に動本方の般員人での 般員人での での、 大のの、 を表費である。 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、	え 3費用 分 5円) 実コスト 会 定財源 で で で で で で で で で で で で で	教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 719 (1 (0 (1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8	居用することで、個々 度	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 年円 194,464 年円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30
事業にかかる 事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる3 事業に国都地での最大の。 一般員人《従っての他の での他の 成果指標 に動した。 「はいかででは、 での他の 成果指標 には、 には、 での他の での他の での他の での他の には、 での他の での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	る費用 分 : 千円) 実コスト : 定財源 で で 事人員数》 人件費	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048 指標につい	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8	居用することで、個々 度	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175
事業にかかる 事業にかかる 決算額(単位: 事業にかかる3 事業に国都地での最大の。 一般員人《従っての他の での他の 成果指標 に動した。 「はいかででは、 での他の 成果指標 には、 には、 での他の での他の での他の での他の には、 での他の での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 での他の には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	え 3費用 分 5円) 実コスト 会 定財源 で で で で で で で で で で で で で	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048 指標につい	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8 36,38	E用するこ々 E度 39 千円 0 千円 0 千円 0 千円 70 千円 70 千円 70 千円 71 人 31 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175
事業にかかる 事業にかかる 決算額(単位: 事業にかか支出債 事本での一職では一職での一般員ででのの。 でのののででである。 「は経費」では、他財人ででの。 でののででは、他のでは、でのでは、でいる。 でのでは、でいる。 でのののでは、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 では、でいる。 でい。 でいる	る費用 分 : 千円) 実コスト : 定財源 で で 事人員数》 人件費	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048 指標につい	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8 36,38	5用することで、個々 39 年円 29 年円 0 千円 0 5 千円 0 千円 70 千円 70 千円 70 千円 70 千円 70 千円 70 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175
事業にかかる	る費用 分 : 千円) 実コスト : 定財源 で で 事人員数》 人件費	行。 教育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048 指標につい	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8 36,38	居用するこ々 度 39 千円 0 千円 0 千円 70 千円 70 千円 70 千円 71 千円 17 人 17 十円 17 未円 17 未円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175
事業にかかる。	る費用 分 : 千円) 実コスト : 定財源 で で 事人員数》 人件費	表育活動指導 生徒へ向き合う 平成29年度 97,294 141,304 (0 96,575 6,962 0.79 37,048 指標につい	享職員等時間を配 を ま ま 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 1 千円 2 千円 2 人 3 千円	平成30年 127,43 171,12 23,90 37 103,16 7,30 0.8 36,38	E用するこ々 E度 39 千円 0 千円 0 千円 0 千円 70 千円 70 千円 70 千円 71 人 31 千円	とで、学校教職員の に応じた指導を可能 令和元年度 147,950 千円 194,464 千円 0 千円 28,623 千円 0 千円 285 千円 119,042 千円 9,097 千円 1.06 人 37,417 千円	つ業務負担軽減を図 能にした。 令和2年度 163,730 千円 224,965 千円 2,552 千円 42,812 千円 0 千円 300 千円 118,066 千円 8,622 千円 1.03 人 52,613 千円	令和3年度 112,401 179,343 0 32,928 0 0 79,473 10,767 1.30 56,175

\wedge $$ $$ $$ $$
〈〉日 巳 息 煇
<u> </u>

の成	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
推指標	ニーズ	財一 源般	向後 性の	
N	N	N	イ	

サ ブ カ ル テ (3年度決算)

教育指導経費

教育指導課

10-01-03-533 教育活動指導員配置事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事	務	基礎となる法令一				
	目指す	まちの姿	子育で・子育ちる	をみんなで支え、	子どもたちの明る	るい声がひびくま	ち
第五次総合計画	政策	A2	人と学びを未来	につなぐまちづく	ŋ		
基本計画体系	施策	1	確かな学力を育	む教育の推進			
	関連す	る施策	_	_	_	_	_
関連する個別計画	多摩市	教育振興	単プラン				
関連する報告書など	_						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	し、翌14 予算配 更した。 級補助	1年度から 当方法を 21年度り 員等の人	ら全校に拡大した 学校規模に応じ は、校長の裁量を	こ。18年度は特別 たものに改めると 高め、機動的な 活した。25年度7	支援教育実施のともに、任用方法 学校運営を実現 からは特別な配慮	かため活動対象を 去を臨時職員から するため、心の 気を要する児童・	31校中23校に配置 対大し、19年度は 5非常勤特別職に変 目談員、特別支援学 生徒への支援に重

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標 教育活動指導員(ピアティーチャー)を全校に配置し、学校が、通常の学級・特別支援学級において、特別な配慮を要する児童・生徒一人一人の状況に応じた個別の学習支援、及び学校生活上の介助等を行うことができるようにすることで、子どもたちの基礎学力を定着させ、学校生活を安心して送ることができるようにする。

予算の執行方法

各学校の学級数や必要性に応じて予算を配分し、学校が年間計画を作成。 勤務実績に基づき報酬を 支給する。

事業の成果

特別な配慮を要する児童・生徒一人一人に応じた指導を充実させることで、子どもたちが学校生活を 安心して送ることができ、また、学習意欲の向上により基礎学力の定着につなげることができた。

◇事業にかかる費用

	区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	決算額(単位:千円)	87,340 ∓ฅ	90,571 ∓ฅ	83,034 ∓ฅ	87,921 ∓ฅ	66,081 ∓⊞
1	事業にかかる実コスト	92,330 ∓用	96,872 ∓⊞	89,495 ∓円	101,074 千円	74,845 ∓用
	工 国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	直都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	6,495 千円	0 千円
	接地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
内	費その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
訳	一般財源	87,340 千円	90,571 千円	83,034 千円	81,426 千円	66,081 ∓⊞
н/	間職員人件費	2,644 千円	2,352 千円	2,489 千円	2,093 千円	1,242 千円
	接経《従事人員数》	0.30 人	0.28 人	0.29 人	0.25 人	0.15 人
	費その他の人件費	2,346 千円	3,949 千円	3,972 千円	11,060 千円	7,522 千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	教育活動指導員(ピアティーチャー)	目標	26	26	26
(アウトプット)	配置学校数	結果	26	26	
成果指標	教育活動指導員(ピアティーチャー)の全校 配置により、児童及び生徒(学校)に対する	目標	_	_	_
	影響を数値化することは難しい。	結果	_		

特記事項

の成果	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
の推移 根料標	ニーズ	財一 源般		特別な配慮を必要とする児童・生徒の状況に応じて教育活動指導員(ピアティーチャー)を適切に 配置し、学習上または生活上のきめ細かい指導や支援を充実させていく。
В	В	В	イ	配置し、学習上または生活上のきめ細かい指導や支援を充実させていく。

サブカルテ (3年度決算) 教育指導経費

10-01-03-533 学校図書館司書報酬 2.6人

◇事業の位置づけ等

* 1 × 1 × 1 × 1 × 1							
事務の種類	自治事務	基礎となる法	令 —				
	目指すまちの姿	子育で・子育ち	をみんなで支え、	子どもたちの明る	るい声がひびくま	ち	
第五次総合計画	政策 A2	人と学びを未来	につなぐまちづく	<u>.</u> b			
基本計画体系	施策 2	豊かな心を育む	教育の推進				
	関連する施策	_	_	_	_	_	
関連する個別計画	多摩市教育振り	車プラン					
関連する報告書など	_						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成15年度に	学校図書館司書を	を小・中学校全校	に配置。			

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

教育指導課

事業の目的、 令和3年度の目標	学校図書館司書を配置することで、市立図書館や司書教諭等と連携するとともに、学校図書館システムを円滑に運用し、児童・生徒への読書活動や調べ学習時の支援を行い、学校図書館の効果的な利用を促進する。
予算の執行方法	各学校へ1名配置。報酬・通勤費に加え、司書の能力の向上を目指し、小・中学校での研修実施に対応するための旅費を支給した(人事課予算)。

事業の成果

司書教諭との連携により、児童・生徒の調べ学習等のための資料・情報収集の充実・迅速化・正確化を図った。

◇事業にかかる費用

	区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	決算額(単位:千円)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
4	事業にかかる実コスト	34,845 ∓用	33,980 ∓円	34,148 ∓用	39,360 ∓ฅ	43,664 千円
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	直都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	接地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
内	費 その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
訳	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
II/	間職員人件費	2,027 千円	2,100 千円	1,888 千円	1,674 千円	828 千円
	接経《従事人員数》	0.23 人	0.25 人	0.22 人	0.20 人	0.10 人
	費その他の人件費	32,818 千円	31,880 千円	32,260 千円	37,686 千円	42,836 千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	学校図書館司書配置学校数	目標	26校	26校	26校
(アウトプット)	于仅凸自由 PJ自比但于仅数	結果	26校	26校	
成果指標	児童・生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	目標	小学校65冊 中学校15冊		小学校65冊 中学校15冊
(アウトカム)	ル里 工匠 ハめルラック中间十岁貝田間数	結果	小学校52.6冊 中学校5.9冊	小学校55.1冊 中学校7.9冊	

特記事項

の成	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
の推移	ニーズ	財一 源般	向後 性の	
Α	В	В	イ	

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	i	基礎となる法	一					
	目指すまちの姿		子育で・子育ちる	子育て・子育ちをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち					
第五次総合計画	政策	A2	人と学びを未来	くと学びを未来につなぐまちづくり					
基本計画体系	施策	2	豊かな心を育む	豊かな心を育む教育の推進					
	関連する	施策	-	_	_	_	_		
関連する個別計画	多摩市教	育振興	! プラン						
関連する報告書など	_								

事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など 社会総がかりでいじめの問題に対峙するため、基本的な理念や体制を整備するための「いじめ防止対策推進法」が平成25年6月に成立し9月に施行された。それを受けて、平成26年度より多摩市いじめ基本方針を策定。平成29年4月に「多摩市いじめ防止対策推進条例」を制定した。

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成26年度

事業の目的、 令和3年度の目標 いじめ防止対策推進法の施行に伴い、「多摩市いじめ防止対策推進条例」を制定する。その条例に基づき、「多摩市いじめ問題対策連絡協議会」及び「多摩市教育委員会いじめ問題対策委員会」を設置し、学校だけでなく家庭、地域、市及び東京都、その他の関係機関が連携し、いじめ問題の対応を図る。

予算の執行方法

「多摩市いじめ問題対策連絡協議会」及び「多摩市教育委員会いじめ問題対策委員会」の委員報酬として執行する。

事業の成果

各学校においていじめ防止に取り組むと同時に、学校内の人材だけでは対応できないような複雑なケースについて専門的立場からの支援を充実させ、いじめ問題の解決を目指した。

◇事業にかかる費用

		区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	決算額(単位:千円)		決算額(単位:千円)		決算額(単位:千円)		65 ∓ฅ	136 ∓ฅ	69 ∓ฅ	68 ∓ฅ	80 ∓ฅ
1	事業	にかかる実コスト	153 千円	304 ∓用	155 千円	152 ∓用	1,737 ∓用				
	1	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
	直拉	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
	接経	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
内	性費	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
訳	(一般財源	65 千円	136 千円	69 千円	68 千円	80 千円				
н/	間泊	職員人件費	88 千円	168 千円	86 千円	84 千円	1,657 千円				
	接経	《従事人員数》	0.01 人	0.02 人	0.01 人	0.01 人	0.20 人				
	費	その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	定期的な開催以外、状況に応じて対応して いく委員会であるため活動指標になじまな	目標			
(アウトプット)	い、 を は な に な に な に な に な に な に な に な に な に な	結果			
成果指標	問題行動調査における多摩市のいじめの解	目標	令和元年度を上回 る解消率	令和2年度を上回る 解消率	
(アウトカム)	消率	結果	(小)86.7% (中)76.2%	(小)88.3% (中)71.3%	

特記事項

の成	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
の推移標	ニーズ	財一 源般	向後 性の	
N	Α	В	イ	

| 10-01-03-533 | スクール・サポート・スタッフ配置事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法	令 —							
	目指すまちの姿	子育で・子育ち	子育て・子育ちをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち							
第五次総合計画	政策 A2	人と学びを未来	人と学びを未来につなぐまちづくり							
基本計画体系	施策 1	確かな学力を育	かな学力を育む教育の推進							
	関連する施策	_	_	_	_	_				
関連する個別計画	多摩市教育振興プラン									
関連する報告書など	_									
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成30年度より 令和2年度は、	数員の在校等時間が長時間化していることが社会問題となっており、勤務環境の改善を目指すため、 呼成30年度より、都補助金を活用してスクール・サポート・スタッフを配置している。 今和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響で臨時休業していた学校が再開した際の 記章・生徒への学びを保障するため、都からの追加補助を受け、事業を実施した。								

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成30年度

事業の目的、 令和3年度の目標

教員が、より児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的とし、学習プリントの印刷・配布準備や授業準備の補助などを担う人材を小・中学校へ配置する。

予算の執行方法

勤務実績に基づき報酬を支払った。 期末手当・社会保険料(事業主負担分)は、人事課予算で対応。

|スクール・サポート・スタッフの配置に伴う報酬・期末手当・社会保険料(事業主負担分)は、都の補助 |対象となっている。

事業の成果

教員が行う授業や準備などの事務負担を軽減し、教員がより児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することができた。

◇事業にかかる費用

	区	分	平成29年度		平成30年度	ŕ	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	決算額	(単位:千円)	0 =	-円	23,094 ∓ฅ		27,603 ∓ฅ	35,782 ∓ฅ	30,118 ∓ฅ
1	事業に	かかる実コスト	0 =	-円	24,533 千円		29,129 千円	41,111 ∓ฅ	35,343 千円
	土	庫支出金	0 =	-円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円
	直都	支出金	0 =	-円	23,094 千円		27,603 千円	35,782 千円	29,190 千円
	接経地	方債	0 =	-円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円
内	世費そ	の他特定財源	0 =	-円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円
訳		般財源	0 =	-円	0 千円		0 千円	0 千円	928 千円
н/	間職	員人件費	0 =	-円	1,344 千円		1,459 千円	2,093 千円	1,242 千円
	接経	《従事人員数》	0.00	人	0.16 人		0.17 人	0.25 人	0.15 人
	費そ	の他の人件費	0 =	-円	95 千円		67 千円	3,236 千円	3,983 千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	スクール・サポート・スタッフ配置校	目標	26校	26校	26校
(アウトプット)		結果	26校	26校	
成果指標	教員の事務補助に携わる事業のため、数値	目標			
(アウトカム)	での成果指標になじまない。	結果	_	_	_

特記事項

の成	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
の推移	ニーズ的	財一 源般	向後 性の	_
N	В	В	イ	

教育指導経費

教育指導課

10-01-03-533 教育指導経費(学校運営協議会)

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法	基礎となる法令地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
	目指すまちの姿	子育で・子育ち	子育て・子育ちをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち						
第五次総合計画	政策 A2	人と学びを未来	人と学びを未来につなぐまちづくり						
基本計画体系	施策 4	児童・生徒の学	見童・生徒の学びを支える環境づくり						
	関連する施策	_	_	_	_	_			
関連する個別計画	多摩市教育振興プラン								
関連する報告書など	_								
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成29年度の済を受けて、令和 移行を開始する	F度の法改正により、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置が努力義務化されたこと「、令和元年度以降、従来設置の「学校運営連絡協議会」から「学校運営協議会」へ段階的な開始する。							

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

令和元年度

事業の目的、 令和3年度の目標 地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、学校運営への必要な支援を協議する学校運営協議会に移行するもので、令和3年度中は、中学校4校、小学校9校を新たに指定し、実施する。

予算の執行方法

学校運営協議会委員に対する報酬。

事業の成果

地域住民等が協議会委員に参画することで、学校運営の理解を深めるとともに、児童・生徒への多様な学びの充実や学校教育環境への向上を図った。「学校運営連絡協議会」から「学校運営協議会」へ移行する学校の指定実施や次年度以降に移行する学校への周知活動を行った。

◇事業にかかる費用

	×	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	額(単位:千円)	0 千円	0 千円	19 ∓ฅ	126 ∓	Ħ	378 ∓ฅ
1		かかる実コスト	0 千円	0 千円	448 千円	628 ∓	Ħ	792 千円
	ļ	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 1	円	0 千円
	直者	#支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 =	円	0 千円
	接経	也方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 1	円	0 千円
内	性費	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 1	円	0 千円
訳	_	一般財源	0 千円	0 千円	19 千円	126 ∓	円	378 ∓⊞
H/X	間服	敞員人件費	0 千円	0 千円	429 千円	502 ₹	円	414 千円
	接経	《従事人員数》	0.00 人	0.00 人	0.05 人	0.06		0.05 人
	費る	その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 1	円	0 千円

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	学校運営協議会に移行した学校	目標	7校	20校	26校
(アウトプット)	子区建省伽磁芸に炒けした子区	結果	7校	20校	_
	学校運営にかかわる事業のため、成果指標	目標	_	_	_
(アウトカム)	はなじまない。	結果	_		

特記事項

の展	今後の	見通し	方今	今後の課題や方向性に関するコメント
推り	ニーズ	財一 源般	向後 性の	
Α	A	A	イ	